

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長野県市町村自治振興組合		代表者名	牛越 徹	
担当者部署	電子自治体推進担当		連絡先電話番号	026-232-4921	
担当者役職	事務局次長	担当者氏名	金原 平八	連絡先E-mail	
住所	380-0871 長野県長野市西長野加茂北143-8				

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守				
評価	大変よい				
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	午前の講演:国の施策は1自治体情報化、2地域情報化、3地域DX化（オープンータ推進、自治体DX、スーパーシティ・田園都市国家構想）と進んできたが、データ連携基盤の構築が謳われており、オープンデータは当たり前、前提となっている。オープンデータ政策を進めるにあたり、提供者は利用結果に責任を負わない、自治体間連携が大事、自治体間で連携し細々とも継続することが大事。そして利用者本位のデータでなければならないことを理解した。 午後の研修：3グループとも活発な意見交換により、短時間で発表資料をまとめ上げることができた。				
アドバイザーへの要望事項	特になし				

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月4日	11時00分	15時00分	60	180
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書についてのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	県（3）、市町村職員（17）及び当組合職員（3）	23 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	市町村にとってはオープン化に関する庁内調整やデータ整備に係る稼働がハードルとなっており、オープンデータの取組に熱心な数団体以外は取組が停滞しているように見受けられる状況。 県としては、取組率100%は達成したものの次のステップの展開について、前述のとおり市町村職員の状況を考慮すると高い目標を掲げている推進はしづらい状況。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	取組率100%達成後の目標設定及び取組方針の醸成、拡充・拡大研修の具体的な内容・進め方を決定する。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	講演（長野県の取組経緯に対する講評、オープンデータに関する政府の取組、オープンデータに関する今後の取組方針）及びワークショップ（アイデア出し合いと討議、テーマ選定と発表資料作成、発表・質疑応答、講評とまとめ）	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	取組率100%達成後の次の一手は「地域連携」、地域連携で利用者目線のデータ提供を細々とも継続して行くという方向が見えた。 提供データには責任を持つが利用結果には責任を負わないことを明記することで、データ提供に消極的な原課にも説明できる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 地域で連携することで、オープンデータ提供の継続と利用者目線に応えたデータ提供（団体の領域を超えた広がりのあるデータ、利用者のニーズに合うデータ等）ができそうな予感。次の目標が見えたことが成果。

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の目的は、次の一手をどうするかを検討であり、目的は達成した。 取組率100%ながら、今回の研修への参加は7広域/10広域、13団体/77団体、17名に留まったのは残念。 新たな目標ができたことで、次の目標の周知と地域連携の呼びかけや連携づくりの支援という新たな課題ができた。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートの回答期限は2月14日としている。結果を集計し、フォローアップ(第3回目)において遠藤先生と分析する予定。 アンケートの内容については添付のとおり。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	拡充・活用に関する予算は各市町村が確保、組合は研修をできれば本支援の枠組みで継続していきたい。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

